

J C H O う つ の み や 病 院
第 4 回 地 域 医 療 連 絡 協 議 会 議 事 録

- (日 時) 平成 29 年 6 月 29 日(木) 16:00~17:30
(場 所) JCHO うつのみや病院 2階大会議室
(出席者) 別紙「委員出席者名簿」のとおり (合計 16 名)
(議 題) (1)平成 28 年度 J C H O う つ の み や 病 院 実 績 報 告
(2)ホームページへの委員名簿、議事録の掲載について
(3)当院への意見・要望について
(4)その他

【概要】

(司会：近藤副施設長により進行)

1. 草野病院長あいさつ

- ・譲渡問題について決着した。皆様のご協力の賜物です。
- ・厚生労働大臣より県と市、JCHO 本部の意見を踏まえて引き続き継続して運営するよう通知がありました。
- ・出来るだけ地元の皆様のご意見を頂き、反映し、地域医療に貢献していきたい。今後もご指導ご鞭撻よろしくお願い致します。

2. 長田委員長あいさつ

- ・草野院長とは腎臓内科の主任教授をされておりましたので、直接お世話になりました。
- ・うつのみや病院のためにもこれからもがんばってやっていきたい。

3. 新委員承認

- ・設置規程の第 2 条をもとに第 4 条（委員の構成）について地域住民代表を 3 名から 4 名と変更した。
- ・新委員を五代若松原地区連合自治会会長の岩戸 肇様をお願いしたい。(拍手をもって承認)
- ・今会議は地域委員 14 名のうち辻田委員が欠席、中村委員の代理で橋本様ご出席、澤畑様が遅れておりますため 病院側委員合わせて 16 名の出席となる。

4. 各委員紹介

- ・異動等による委員の変更があった。
- ・宇都宮市保健所長の中村様の代理で副所長兼総務課長の橋本様
- ・宇都宮市保健福祉部高齢福祉課長の小久保様
- ・宇都宮市南消防署救急第 2 グループ係長の辻田様は欠席です
- ・宇都宮南警察署警務課長の澤畑様

- ・雀宮地区末広1丁目自治会長の篠原様
- ・病院側事務局 佐藤看護部長

本日協議会終了後、ご希望者がいらっしゃれば健診センター、附属老健の見学を30分程度予定しております。

(これ以降、設置規程第7条より長田委員長が議事進行)

4. 議題

(1) 平成28年度JCHOうつのみや病院実績報告

- 事務局 石引：(別紙スライド資料について説明)
 - ・別紙資料参照。

<質疑応答>

- 長田委員長：教育センター設置後1年経つが、どのような活動かおしらせを頂けるとありがたい。
- 草野委員：1～3月に3名の学生が来られた。長嶺先生が1カ月のカリキュラムを作成し、各診科、健診、老健と勉強頂いた。学生からも良い経験が出来たと言われた。今後はホームページ、ニュースレター等行いたい。
- 渡邊委員：現在、産科はないか。
- 草野委員：自治医大、獨協医大と相談したが、まとまった人数が出せないと言われた。人数が揃わないと難しい。自治医大は拠点を芳賀に移した。
- 渡邊委員：宇都宮は50万人都市だが、お産の出来る病院が8か所しかない。
- 草野委員：譲渡の際2番目に産科についてあったが、開設は、地域医療の上でも今後の課題。
- 長田委員長：経常収支が良くなっているが、おおまかに今後どのようにやっていくつもりか。
- 草野委員：患者様は急には増えないため、医療の質を上げて単価を上げたい。回復期リハ病棟、老健を上手く使いたい。またご利用いただきたい。
- 岩戸委員：地域で高齢化が進んでいる。認知症等、明日は我が身。老人会の会長が活発な方のため委員に入れて生の声を聴いて欲しい。
- 長田委員長：委員の構成に係る。規程の変更になるか。
- 石引：協議会の中で検討いただきたい。
- 木平委員：私が地域包括センターの活動に出席している。まずそこで話を伺いたい。事務局側ですぐ回答出来ないと思うので。(事務局預かり)
- 倉松委員長：昨年救急医療に力を入れると言われ、医師2人体制にするなどし、患者数も増えているが、この地区で受入数は増えているか。
- 石引：6月の数字は救急要請127件に対し91件の受入れ。71%となる。
- 草野委員：去年は8割以上あった。救急当番日があり、当院の近くに救急車が来たのになぜ運ばないのか。当番病院に問い合わせがいく場合がある。神経内科、脳神経外科の医師がいない為、専門外とお断りする場合もある。脳梗塞などは、早急な処置

が必要となる場合がある。

自治医大に常勤医師の派遣をお願いしたい。

- 長田委員長：自治医大には脳卒中センターが有るが、医師が少ない為、外に派遣出来ない。
- 大和田委員：地元の方はこの地域のうつのみや病院と捉えるが、地域医療では宇都宮市全体として捉える。救急患者の半分は済生会が受け、その他を輪番の4病院が分けるかたちになる。当番日には鹿沼、上三川等の患者を受ける。近い地域とは限らない。
- 藤川委員：平日は宇南地区の方は出来るだけ受け入れられるようやっている。専門性も有るが、7割以上は受けている。
- 木平委員：当院は回復リハ、レスパイトで老健もある。このような地域医療も行っている。
- 草野委員：宇都宮を南から支えようという気持ちで行っている。

(2) ホームページへの委員名簿、議事録の掲載について

- 事務局：JCHO本部よりこの会議について情報公開するよう求められている。委員様の氏名、議事録などについてホームページへの掲載についてご了承いただきたい。
- 長田委員長：こういう時代なのでよろしいのではないのでしょうか。今年からで良いのでは。
- 事務局：ありがとうございました。

(3) 当院への意見・要望について

- 山口委員：黒字化されたということだが、職員の給与を上げていただきたい。看護師の求人を見たが、給与が低い。採用につなげて欲しい。
患者が増えてくると病院も手狭になる。増築を検討いただきたい。町も活気づく。
- 倉松委員：黒字化になったようなので環境整備をお願いしたい。樹木や庭木に手入れが行き届いていないところが見受けられる。
鳩の問題、糞の害あると思うが、感染など対応を伺いたい。
- 石引：樹木については保存的に手入れを行っているのみ。
鳩については委託外で清掃を依頼した。ワイヤーロープを掛ける等検討しているが全体となると費用がかさむ。近所への影響などもあり現在模索中。
- 長田委員長：前回駐車場の立体化など話が出たと思うが、その後どうか。
- 石引：立体化は費用の面で難しい。業者に委託し整備をして頂く案が有る。懸念するのが利用者から駐車料金をいただくこと。今後ご意見いただきながら行いたい。

(4) その他

- 石引：最後にこの会議は地域に携わる方々からご意見いただける貴重な場として考えている。本日いただきましたご意見は次回までにご回答させていただきたい。
本日はありがとうございました。

以上

2017.6.29 総務企画課作成